

公正な事業慣行

倫理的で誠実な事業活動を行うことがすべての基本です。コンプライアンスを徹底することはもちろん、サプライチェーンにおける環境や人権に配慮した持続可能な調達を実現することも、将来にわたって持続的で安定した事業活動を行っていくためには欠かせません。

関連するポリシー 調達方針

持続可能な調達

▶ 重要原材料

使用している原材料を使用量、依存度、代替の可否、環境や社会との関わりなどの視点で総合的に評価し、重要原材料を整理しています。また、事業や地球環境の変化、社会からの要請に応じて定期的に重要原材料を見直しています。

重要原材料

カカオ豆	チョコレート製品の主原料
パーム油	幅広い製品に用いられる油脂や食品添加物の原料
紙	幅広い製品の容器包装に使用

重要原材料①カカオ豆

▶ 中期目標と実績

私たちは、2023年度までに調達するカカオ豆のうちフェアカカオの割合を20%以上にする、さらに2028年度までに50%以上を目標に掲げています。

2023年目標
20%以上



2028年目標
50%以上



2019年度のカカオ豆の調達実績は7.5千tで、そのうちフェアカカオの割合は4.0%でした。世界的なサステナビリティへの関心の高まりによる需要拡大の影響を受け、フェアカカオの調達割合が減少しました。今後は産地やサプライヤーと協力してフェアカカオの調達割合を拡大していきます。

カカオ豆調達量

2017年度	5.8千t	うちフェアカカオ8.6%
2018年度	6.4千t	うちフェアカカオ7.9%
2019年度	7.5千t	うちフェアカカオ4.0%

集計対象

株式会社ロッテ

豆の状態で開催したカカオ豆の重量

▶ FAIR CACAO PROJECT (フェアカカオプロジェクト)

カカオ豆は、その多くが赤道直下の地域で、零細農家によって生産されています。カカオ豆を主原料とするチョコレートが主



調達活動
(フェアカカオ)

生産地支援

力製品である私たちにとって、カカオ豆の将来にわたる安定調達は重要な課題です。そのため、(株)ロッテでは、カカオ豆の生産地に寄り添い、現地の経済的・社会的発展に貢献する活動をFAIR CACAO PROJECTと名付けて取り組んでいます。この活動は調達活動と生産地支援の大きく2つに分けられます。

FAIR CACAO PROJECTの調達活動として、地域指定購入を行っています。これは、調達する生産エリアを指定し、そこから調達する高品質のカカオ豆に一定の割増金(プレミアム)を上乗せして支払うもので、その割増金が現地での分別流通の費用や生産地への支援(医療や保健、水の確保、農業技術指導など)に使われています。このように生産地の支援や発展に貢献しながら調達したカカオ豆をフェアカカオと名付けて、その調達割合の拡大をESG中期目標で掲げています。

また、生産地支援は、国内外の業界団体やNPOなどと協力して行っています。農家の支援や、生産地域の経済発展、将来の農家の担い手である子どもたちの教育水準の向上に貢献することは、カカオ豆の将来にわたる安定調達につながります。

■ 世界カカオ財団 (World Cocoa Foundation)

カカオ農家の支援を目的として2000年にアメリカで設立された国際的なNPO法人です。赤道直下のカカオ栽培地域にて、カカオ農家の技術支援や、過酷な児童労働のない社会の実現を目指した活動に取り組んでいます。



■ ジョイセフ

女性のいのちと健康を守るために活動している1968年に日本で設立された国際協力NGOです。ジョイセフを通じて、2008年からガーナ共和国への再生自転車などの寄贈を支援しています。診療所が不足している現地の村に届けられた再生自転車は、保健推進員や助産師が利用し、家庭訪問による健康教育などに用いられています。



■ 国連WFP

(国際連合世界食糧計画WFP協会)

飢餓のない世界を目指して活動する国連の食糧支援機関で、活動の柱の一つとなっているのが学校給食プログラムです。学校給食を届けるためのキャンペーンである「レッドカップキャンペーン」に参加し、国連WFPがガーナ共和国で行う、学校給食プログラムを支援しています。



学校給食プログラムの様子
©WFP/Mandang-ba Mustapha

重要原材料②パーム油

▶ 中期目標と実績

私たちは、2023年度までに国内で調達するパーム油を、RSPO (持続可能なパーム油のための円卓会議) 認証などの第三者認証油に100%切り替えること、さらに2028年度までに国内外のグループ会社でも実現することを目標に掲げています。

2023年目標

100%
(国内)



2028年目標

100%
(国内+海外)



2019年度の国内におけるパーム油の調達実績は15.4千tでした。2020年度より、第三者認証油の調達を本格的に開始する予定です。

パーム油調達量

2017年度	15.3千t
2018年度	15.9千t
2019年度	15.4千t

集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカムパニー
油脂および油脂加工品に含まれるパーム油の重量

▶ 社会との連帯

持続可能なパーム油の調達を推進するため、RSPOに加盟しています。RSPOを通じてパーム油に関わる企業・団体と連帯し、パーム油産業全体の持続可能な発展に貢献していきます。



4-1140-19-000-00

重要原材料③紙

▶ 中期目標と実績

私たちは、2023年度までに国内で調達する製品の容器包装に用いる紙を、FSC(森林管理協議会)認証などの第三者認証紙や再生紙といった環境に配慮した紙に100%切り替えること、さらに2028年度までに国内外のグループ会社でも実現することを目標に掲げています。

2023年目標

100%
(国内)



2028年目標

100%
(国内+海外)



2019年度の国内における製品の容器包装に用いる紙の調達実績は42.5千tで、そのうち環境に配慮した紙の割合は93.1%となり、前年度より1.1ポイント増加しました。今後も、紙の持続可能な調達に取り組み、環境に配慮した紙の調達割合を拡大していきます。

紙調達量(製品の容器包装)

2017年度	44.0千t うち環境に配慮した紙91.5%
2018年度	45.5千t うち環境に配慮した紙92.0%
2019年度	42.5千t うち環境に配慮した紙93.1%

集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー

サプライヤーとの取り組み

▶ 価値観の共有

私たちは、調達方針に基づき、持続可能な調達活動を推進しています。調達方針には、倫理的な取引や品質、安全性に関してはもちろん、サプライチェーンにおける環境や社会への配慮についても掲げています。しかしながら、サプライチェーンのグローバル化に伴い、私たちだけでサプライチェーン全体における環境や社会への影響を把握・管理することは難しく、サプライヤーと協働して取り組むことが不可欠です。そこで、2019年4月に「株式会社ロッテサプライヤーガイドライン」を制定しました。本ガイドラインを通して、サプライヤーと基本的な価値観を共有し、さらには対話を通じてより有益な関係を構築して、共に持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

すでに、本ガイドラインの説明会を実施し、理解の促進に努めています。今後も定期的を開催するとともに、アンケートなどを通じた対話により、更なる理解促進と関係構築を進めていきます。

▶ 人権デューデリジェンス

(株)ロッテでは、自社および子会社だけでなく、サプライチェーンも含めた人権マネジメントの仕組みを構築するために、人権デューデリジェンスを行っています。すでに、質問票送付などのサプライヤー調査を通して、潜在的リスクが最も高いのはカカオ豆およびパーム油のサプライチェーンであることが判明しました。今後は、リスク低減に向けた取り組みを検討していきます(P27参照)。

コンプライアンス

▶ 行動憲章 LOTTE Group Way

行動憲章 LOTTE Group Wayは(株)ロッテおよび子会社の役員と従業員全員が理解し、これに基づいて業務を行う指針として2008年に制定しました。また、ホームページなどで公開しており、倫理的で誠実な事業活動を社会に約束しています。7つの項目から構成されており、企業理念であるロッテグループミッションとロッテバリューを実現するための行動指針として位置付けられています。

また、ホームページ以外にも、企業理念WEBブックおよび多言語版冊子の中でも行動憲章について解説し、全役員と従業員への浸透と理解促進を図っています。



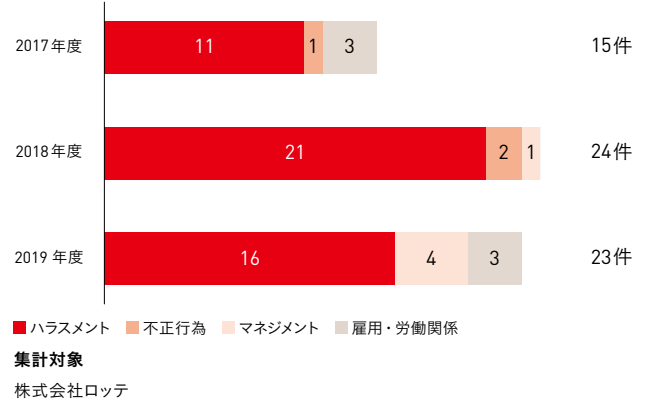
▶ コンプライアンス研修

行動憲章の浸透と倫理的で誠実な事業活動の実践のために、従業員を対象としたコンプライアンス研修を行っています。2019年度は、新入社員や昇格者を対象とした研修および年次研修でコンプライアンスに関する研修を実施し、約400名が受講しました。今後も、計画的に研修を継続していきます。

▶ 内部通報制度

(株)ロッテでは、内部通報制度としてクリーンラインを2006年より社内に設置し、電話やメール、手紙などで従業員からの通報や相談を受け付けています。対応については、通報者のプライバシー保護に努めるとともに、通報による不利益が生じないよう細心の注意を払っています。また、(株)ロッテおよび国内外の子会社では、社外通報窓口を2018年より設置しており、内部通報の実効性を高めています。

通報窓口への相談・通報件数



▶ 法令違反

2019年度は、重大な法令違反は発生しませんでした。

▶ 情報セキュリティ

(株)ロッテでは情報セキュリティマネジメント委員会を設置し、お客様や従業員、技術に関わる機密情報の保護と管理に取り組んでいます。同委員会では、情報セキュリティに関する教育も行っており、新入社員への研修のほか、定期的に標的型攻撃メールに関する注意喚起を行うとともに、実践型の訓練を実施しています。

▶ 動物実験について

(株)ロッテでは、動物実験に関する考え方を定めています。

動物実験に関する考え方

私たちは、社会に対して説明責任を果たす必要がある場合、適切な代替試験方法がない場合、又は、法規制上或いは行政から求められる場合等を除き、外部委託も含めて動物実験は行いません。やむを得ず動物実験を行う場合は、関連する法令や指針等に則り、3R*の原則を遵守します。

* Replacement (代替法の利用)、Reduction (動物利用数の削減)、Refinement (苦痛の軽減)